

**2024年度**

**舞台・ライブエンタテインメント産業に係る業界横断定点調査・分析業務**

**報告書**

2024/11

**一般社団法人 芸術と創造**  
Platform for Arts and Creativity

委託：独立行政法人日本芸術文化振興会託事業 「令和6年度文化芸術活動の動向把握に向けた基礎資料収集事業」

## ① 本報告書の構成

## ② 調査概要

## ③ 調査結果のサマリー

## ④ 舞台・ライブエンタメに関する各種統計・調査との比較

## ⑤ 統括団体別の結果

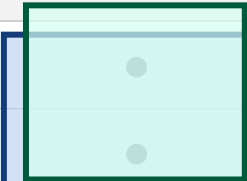
## ⑥ その他の属性別の結果

## ⑦ その他の集計結果（統括団体別）

# 本報告書の構成

⇒以下のとおり、主要な項目を各章に分けて掲載している。

	全体	4統括団体別	その他の属性別
構成員数			—
売上高			—
営業利益率			
業況・景況			
経営課題等			
その他の属性（法人形態、事業内容、芸術分野、所在地等）			—



「③ 調査結果のサマリー」で掲載

「⑤ 統括団体別の結果」で掲載

「⑦ その他の集計結果（統括団体別）」で掲載

「⑥ その他の属性別の結果」で掲載

「④ 舞台・ライブエンタメに関する各種統計・調査との比較」で比較結果を掲載

① 本報告書の構成

② 調査概要

③ 調査結果のサマリー

④ 舞台・ライブエンタメに関する各種統計・調査との比較

⑤ 統括団体別の結果

⑥ その他の属性別の結果

⑦ その他の集計結果（統括団体別）

調査概要

➡全体で273件の有効回答があった。

調査名	2024年度「舞台・ライブエンタテインメント産業に係る業界横断定点調査」
主催	一般社団法人日本音楽事業者協会※1、一般社団法人日本音楽制作者連盟※1、 一般社団法人コンサートプロモーターズ協会、一般社団法人緊急事態舞台芸術ネットワークの正会員企業
調査対象	4統括団体の正会員企業 ※1：当該2統括団体においては一定条件にて調査対象を絞り込み
調査項目	構成員数、売上高、営業利益率、業況・景況、経営課題等を中心とした設問のほか、 法人形態、事業内容、芸術分野、所在地等
回答方法	指定のURLにアクセスしオンライン上にて回答
調査期間	2024/8/19~2024/10/4
有効回答数	273件 (内数※2) 一般社団法人日本音楽事業者協会： 27件（回収率：55%） 一般社団法人日本音楽制作者連盟： 28件（回収率：29%） 一般社団法人コンサートプロモーターズ協会： 62件（回収率：83%） 一般社団法人緊急事態舞台芸術ネットワーク：176件（回収率：84%） ※2：複数統括団体への加盟企業が存在するため、内数の合計値が全体値とイコールとならないことに留意されたい。
調査受託※3	一般社団法人芸術と創造 ※3：設計・集計・分析業務の受託

## 調査項目（１／５）

➡回答の負担を軽減し、回収率を高めるために昨年度と比較して設問数を絞り込んだ。

設問	回答方法
あなたの会社・団体名を選択してください。	選択式
★FMPJのみ あなたの会社・団体の名称を記載してください。	自由記述
あなたのご所属・お名前・連絡先（電子メール、電話番号）を記載してください。	自由記述
以降の設問は、あなたの会社・団体の基本的な状況についてお伺いします。	
★ACPC・JPASNのみ あなたの会社・団体は法人化をしていますか。	選択式
あなたの会社・団体の法人形態はどのようなものですか。	選択式
あなたの会社・団体の事業内容としてあてはまるものを全て選択してください。 (以下選択肢から選択) <ul style="list-style-type: none"><li>・公演の主催（興行主）</li><li>・アーティストマネジメント</li><li>・公演・作品の制作</li><li>・舞台技術</li><li>・公演の運営</li><li>・公演の運営サポート（票券、整理・警備、広報・広告宣伝等）</li><li>・劇場・音楽ホールの運営（含む指定管理業務）</li><li>・著作権管理</li><li>・ファンクラブ運営</li><li>・その他の事業</li></ul>	選択式 (複数)
あなたの会社・団体の事業内容として最も中心となるものを選択してください。 ※判断が難しい場合は、最も売上高が大きな事業を選択してください。	選択式

## 調査項目（2 / 5）

<p><b>あなたの会社・団体が行う事業の芸術分野としてあてはまるものを全て選択してください。</b></p> <p>（以下選択肢から選択）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音楽①（ポップス、ロック、ダンスミュージック、演歌・歌謡曲、ジャズ等）</li> <li>・ 音楽②（クラシック、オペラ等）</li> <li>・ 演劇・ミュージカル</li> <li>・ ダンス・バレエ・舞踊</li> <li>・ 伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、文楽・浄瑠璃、雅楽等）</li> <li>・ 演芸（漫才・コント、落語、大道芸等）</li> <li>・ 映画・映像作品</li> <li>・ あてはまるものはない</li> </ul>	<p>選択式 （複数）</p>
<p><b>あなたの会社・団体の本社（あるいは主たる事務所）のある都道府県を選択してください。</b></p>	<p>選択式</p>
<p><b>以降の設問は、あなたの会社・団体の構成員数についてお伺いします。</b></p>	
<p><b>現在、あなたの会社・団体が舞台・ライブエンタテインメントに関する事業に従事している構成員の人数の規模を選択してください。</b></p> <p>※公演の警備・サポート等で一時的に関与しているフタッフ（アルバイト等）は含みません。</p> <p>★JPASNのみ</p> <p>※雇用契約を結んでいない劇団員等の構成員も含めてお答えください。</p>	<p>選択式</p>
<p><b>それでは、構成員が関わっている仕事の内容別の構成員数の規模を選択してください。</b></p> <p>※複数の役割を兼務している方がいる場合は、最も従事している時間が長い役割にてカウントしてください。</p> <p>（以下区分別にそれぞれ選択）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ クリエイター・実演家</li> <li>・ 事業（アーティストマネジメント・制作等）</li> <li>・ 経営管理</li> <li>・ 技術・美術</li> <li>・ その他</li> </ul>	<p>選択式</p>

## 調査項目（3/5）

<b>以降の設問は、あなたの会社・団体の売上高、営業利益率についてお伺いします。</b>	
<b>あなたの会社・団体の直近の会計年度の「売上高」の規模はどのくらいですか。あてはまるものを選択してください。</b> ※舞台・ライブエンタテインメント事業以外の収入も含めた会社・団体全体の売上高を選択してください。	選択式
<b>それでは、直近の会計年度の「売上高」として、最も近いものを選択してください。</b>	選択式
<b>直近の会計年度の「売上高」は、その一期前の会計年度と比べて増加しましたか・減少しましたか。</b>	選択式
<b>あなたの会社・団体の直近の会計年度の「営業利益率」はプラスですかマイナスですか。</b> ※「営業利益率」とは「営業利益」を「売上高」で除したものです（営業利益/売上高）。 また、「営業利益」とは、「売上高」から「売上原価」と「販売費（広告宣伝費、販売促進費、通信費等）および一般管理費（オフィスの賃貸料、社員の給料、水道光熱費、消耗品費、租税公課等）」を差し引いたものです。 ※どうしてもお答えいただくことが難しい場合は、選択肢の最後に表示される「答えられない」を選択してください。	選択式
<b>では、「営業利益率」として最も近いものを選択してください。</b> ※どうしてもお答えいただくことが難しい場合は、選択肢の最後に表示される「答えられない」を選択してください。	選択式
<b>次の収入のうち、あなたの会社・団体の直近の会計年度において発生したものを全て選択してください。</b> （以下選択肢から選択） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 興行収入（公演のチケット収入、作品の公演料、委員会等による分配金等）</li> <li>・ 出演料・演出料・脚本料および権利収入（著作権料・放映権料・印税・ロイヤリティ収入等）</li> <li>・ グッズ販売収入およびファンクラブ会費収入</li> <li>・ 国・地方自治体・その他公的機関からの補助金・助成金等の収入 （舞台・ライブエンタテインメント事業に関連したもののみに限る）</li> <li>・ 企業協賛金等その他の舞台・ライブエンタテインメント事業に関する収入</li> <li>・ 上記のいずれも発生していない（＝売上の全てが舞台・ライブエンタテインメント事業以外の収入）</li> </ul>	選択式
<b>では、次の収入区分が売上全体に占める割合としてそれぞれ最も近いものを選択してください。</b> ※割合の合計がおおよそ100%になるように選択してください。 ※どうしてもお答えいただくことが難しい場合は、選択肢の最後に表示される「答えられない」を選択してください （ただし、「舞台・ライブエンタテインメント以外の収入」については必ず選択してください）。	選択式



## 調査項目（４／５）

<b>以降の設問は、様々な事柄に関するあなたの「現状に関する認識」、「昨年同時期と現状を比較した変化に関する認識」をお伺いします。</b>	
<b>次の項目に関する、あなたの「現状に関する認識」としてそれぞれあてはまるものを選択してください。</b> ※本アンケートに記入されている方の認識で構いません。 （以下の点についてそれぞれ選択） <ul style="list-style-type: none"><li>・ 貴社・団体の業況</li><li>・ 業界（舞台・ライブエンタテインメント産業）全体の景況</li></ul>	選択式
<b>次の項目に関する、あなたの「昨年同時期と現状を比較した変化に関する認識」としてそれぞれあてはまるものを選択してください。</b> ※本アンケートに記入されている方の認識で構いません。 （以下の点についてそれぞれ選択） <ul style="list-style-type: none"><li>・ 貴社・団体の業況</li><li>・ 業界（舞台・ライブエンタテインメント産業）全体の景況</li><li>・ 貴社・団体が行う公演等の客単価（チケット・グッズ等も含む）</li><li>・ 貴社・団体の公演等の客数</li></ul>	選択式

## 調査項目（5/5）

<p><b>さいごに、あなたの会社・団体の経営課題等についてお伺いします。</b></p>	
<p><b>あなたの会社・団体に直面している経営課題は何ですか。次のうちから最も重要なものを3つまで選択してください</b>          （以下選択肢から選択）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資金繰り（借入金の返済・金利負担の上昇等）</li> <li>・ 上昇したコストのチケット等への価格転嫁</li> <li>・ 公演等を実施するための会場の確保</li> <li>・ 物流（機材等の輸送手段）の確保</li> <li>・ 新しい観客層（主に日本人）の開拓</li> <li>・ 外国人客への対応・開拓</li> <li>・ 社員・スタッフの確保</li> <li>・ 社員・スタッフの離職</li> <li>・ 社員・スタッフの昇給への対応</li> <li>・ 社員・スタッフの人材育成</li> <li>・ アーティストの離職（独立・移籍・引退等）</li> <li>・ 次世代経営者の確保（事業承継、経営者育成等）</li> <li>・ 業務・契約等に係るデジタル化への対応</li> <li>・ その他</li> <li>・ 特に経営課題はない</li> </ul>	<p>選択式</p>
<p><b>あなたの会社・団体では次の項目が問題となっていますか/なっていませんか。それぞれあてはまるものを選択してください。</b>          （以下の点についてそれぞれ選択）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 顧客クレームへの対応</li> <li>・ あなたの会社・団体の関係者に対する誹謗中傷・炎上への対応</li> <li>・ 感染症及び熱中症への対応</li> <li>・ あなたの会社・団体内部・関係先における各種ハラスメントやその疑惑への対応</li> <li>・ 働きかた改革への対応</li> <li>・ インボイス制度への対応</li> <li>・ フリーランス法への対応</li> </ul>	<p>選択式</p>

① 本報告書の構成

② 調査概要

③ 調査結果のサマリー

④ 舞台・ライブエンタメに関する各種統計・調査との比較

⑤ 統括団体別の結果

⑥ その他の属性別の結果

⑦ その他の集計結果（統括団体別）

# 会員企業の構成員数

➡本調査への回答企業だけでも累計では14,583人の構成員を抱えていることが確認できた。

【会員企業の構成員数】

(n=272)

	会員企業累計	1社あたり
舞台・ライブエンタテインメント事業関連	14,583人	54人
事業（アーティストマネジメント・制作等）	4,200人	15人
クリエイター・実演家	3,318人	12人
技術・美術	2,014人	7人
経営管理	1,735人	6人
その他	3,317人	12人

【設問文】

- 現在、あなたの会社・団体で舞台・ライブエンタテインメントに関する事業に従事している構成員の人数の規模を選択してください。
  - それでは、関わっている仕事の内容別の構成員数の規模を選択してください。
- ※公演の警備・サポート等で一時的に関与しているフタッフ（アルバイト等）は含みません。  
（一般社団法人緊急事態舞台芸術ネットワークのみ表示）  
※雇用契約を結んでいない劇団員等の構成員も含めてお答えください。

参考）

経済産業省の経済センサス活動調査（平成28年度）を元にした、「舞台」又は「ステージ」に関係する業務を行う事業所の従業者数の累計は14,619人。出所）経済産業省「舞台技術サービス業」（仮称）の日本標準産業分類における取扱いについて」

# 会員企業の売上高

➡少なくとも舞台・ライブエンタテインメント事業関連の売上高の累計は8,691億円以上※1。

【会員企業の売上高※2】

(n=212)

	会員企業累計	1社あたり	1構成員あたり
舞台・ライブエンタテインメント事業関連売上高	8,691億円	41億円	7,512万円
興行収入 ※3	6,269億円	-	-
出演料・演出料・脚本料および権利収入 ※3	921億円	-	-
グッズ販売収入およびファンクラブ会費収入	691億円	-	-
公的機関からの補助金・助成金等の収入 ※3	351億円	-	-
その他の舞台・ライブエンタテインメント事業に関する収入 ※3	459億円	-	-
全体売上高（舞台・ライブエンタテインメント事業以外の収入も含めたもの）	24,937億円	-	-

※1：セグメント売上高についての回答企業は212社であり、また、費目によって「答えられない」を選択した社もあるため、実際の売上高の累計はこれ以上の額であると考えられる。

※2：各企業から申告された全売上高を累計したものであり、企業間の取引の重複分を重複分を相当程度含むと想定されることに留意されたい。

※3：調査票上では、「興行収入（公演のチケット収入、作品の公演料、委員会等による分配金等）」、「出演料・演出料・脚本料および権利収入（著作権料・放映権料・印税・ロイヤリティ収入等）」、「国・地方自治体・その他公的機関からの補助金・助成金等の収入（舞台・ライブエンタテインメント事業に関連したもののみに限る）」、「上記のいずれも発生していない（売上の全てが舞台・ライブエンタテインメント事業以外の収入）」と表記。上記表上ではこれらを省略して掲載している。

## 【設問文】

- あなたの会社・団体の直近の会計年度の「売上高」の規模はどのくらいですか。
- それでは、直近の会計年度の「売上高」として、最も近いものを選択してください。
- ※舞台・ライブエンタテインメント事業以外の収入も含めた会社・団体全体の売上高を選択してください。
- 次の収入のうち、あなたの会社・団体の直近の会計年度において発生したものを全て選択してください。
- では、各収入区分が売上全体に占める割合として最も近いと感じるものをそれぞれ選択してください。
- ※割合の合計がおおよそ100%になるように選択してください。
- ※どうしてもお答えいただくことが難しい場合は、選択肢の最後に表示される「答えられない」を選択してください。

## 参考）

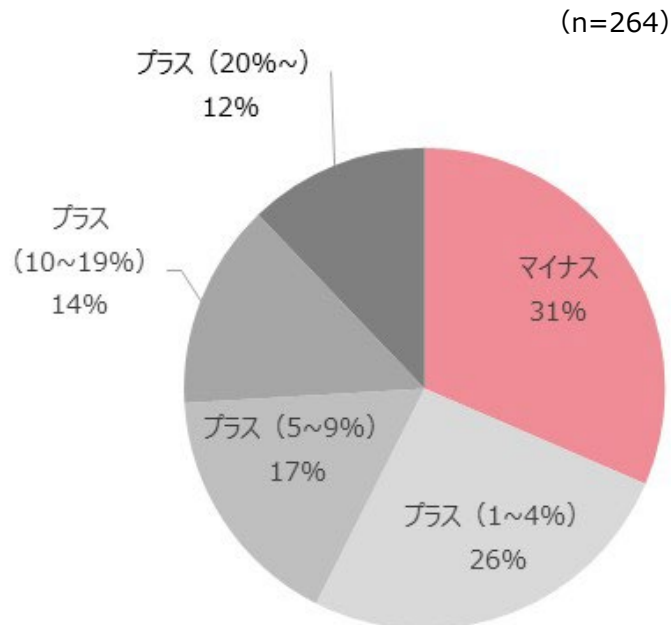
経済産業省の経済センサス活動調査（平成28年度）を元にした、「舞台」又は「ステージ」に係る業務を行う事業所の売上金額合計2,512億円。出所）経済産業省「舞台技術サービス業」（仮称）の日本標準産業分類における取扱いについて」  
また、ぴあ株式会社（ぴあ総研）「2023年のライブ・エンタテインメント市場規模（確定値）」によると2023年のライブ・エンタテインメント市場規模は6,857億円である。

## 営業利益率

➡全体の31%はマイナス（営業損失がある）。

また、26%はプラス（営業利益がある）であるが、利益率は1~4%と限定的。

【企業全体の営業利益率】



### 【設問文】

●あなたの会社・団体の直近の会計年度の「営業利益率」はプラスですかマイナスですか。

●では、「営業利益率」としてあてはまるものを選択してください。

※「営業利益率」とは「営業利益」を「売上高」で除したものです（営業利益/売上高）。また、「営業利益」とは、「売上高」から「売上原価」と「販売費（広告宣伝費、販売促進費、通信費等）および一般管理費（オフィスの賃貸料、社員の給料、水道光熱費、消耗品費、租税公課等）」を差し引いたものです。

※どうしてもお答えいただくことが難しい場合は、選択肢の最後に表示される「答えられない」を選択してください。

### 参考)

総務省統計局「経済センサス活動調査（令和3年）」によると「生活関連サービス業、娯楽業」の営業利益率は18%、「サービス業（他に分類されないもの）」は26%、「情報通信業」は13%、「宿泊業、飲食サービス業」は12%、「製造業」は6%である。

※経済センサスを基に（一社）芸術と創造算出。

業況・景況

➡「業界全体の景況」は去年より「良くなった」と回答した企業が多かったが、現状認識は「良い」と「悪い」が拮抗。

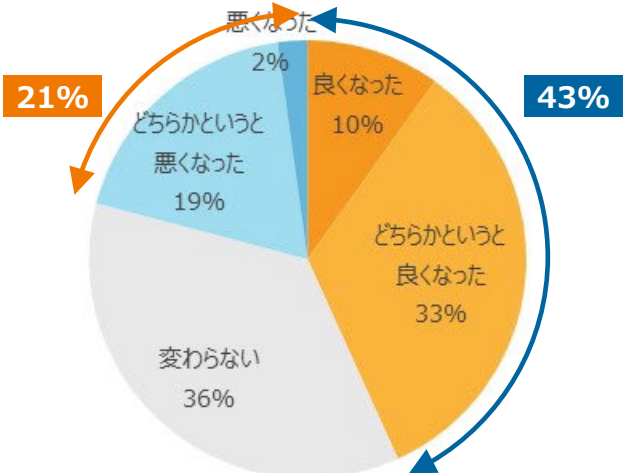
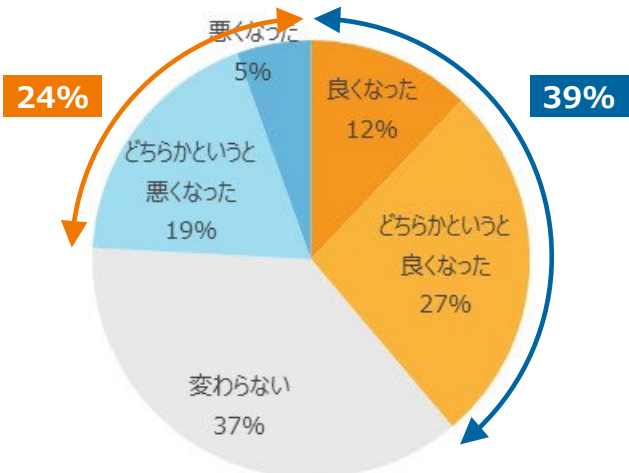
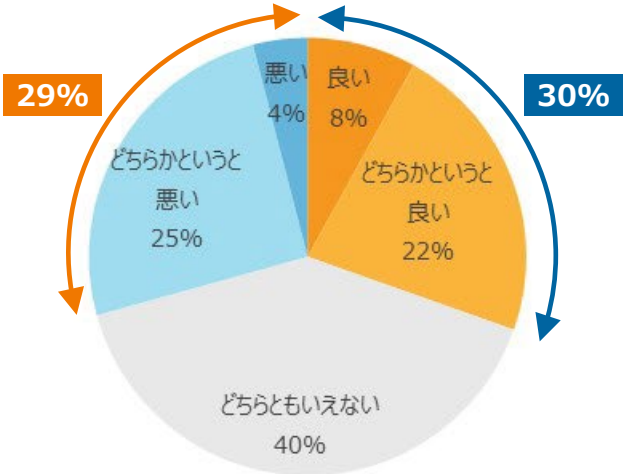
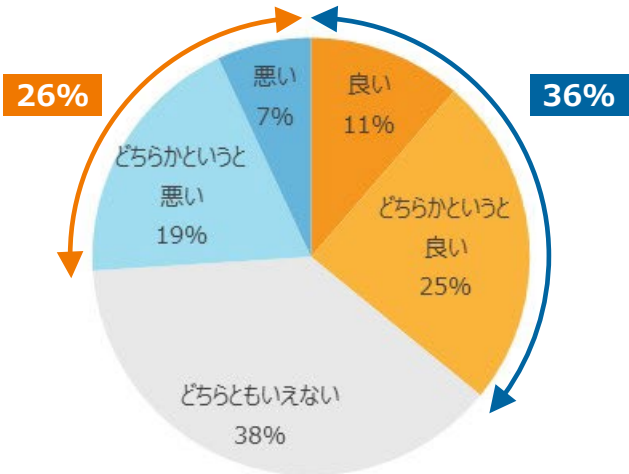
【業況・景況の現状認識と昨年度同時期との比較】 (n=273)

現状認識

昨年同時期との比較

貴社・団体の業況

業界（舞台・ライブエンタテインメント産業）全体の景況



【設問文】

- 次の項目に関する、あなたの「現状に関する認識」としてそれぞれあてはまるものを選択してください。
- 次の項目に関する、あなたの「昨年同時期と現状を比較した変化に関する認識」としてそれぞれあてはまるものを選択してください。

※本アンケートに記入されている方の認識で構いません。

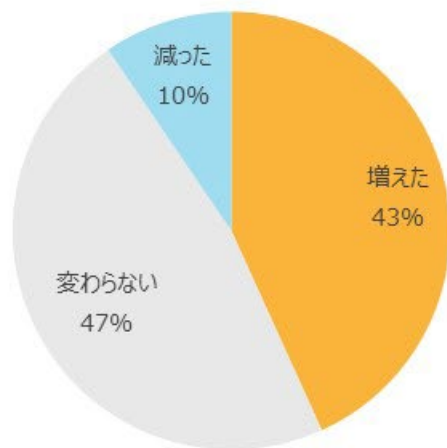
## 客単価・客数

➡客単価が増えたとした企業は43%。一方で57%は物価上昇・コスト増を価格に転嫁できていないといえる。

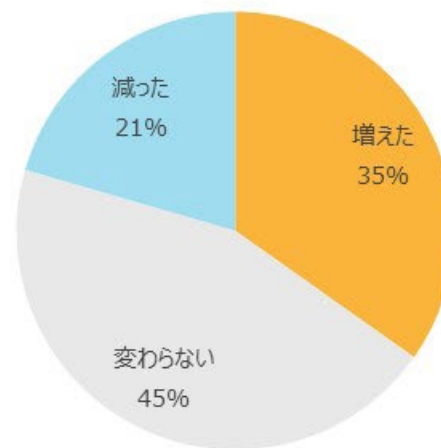
【客単価・客数の昨年度同時期との比較】

(n=273)

貴社・団体が行う公演等の客単価  
(チケット・グッズ等も含む)



貴社・団体が行う公演等の客数



【設問文】

● 次の項目に関する、あなたの「昨年同時期と現状を比較した変化に関する認識」としてそれぞれあてはまるものを選択してください。

※本アンケートに記入されている方の認識で構いません。

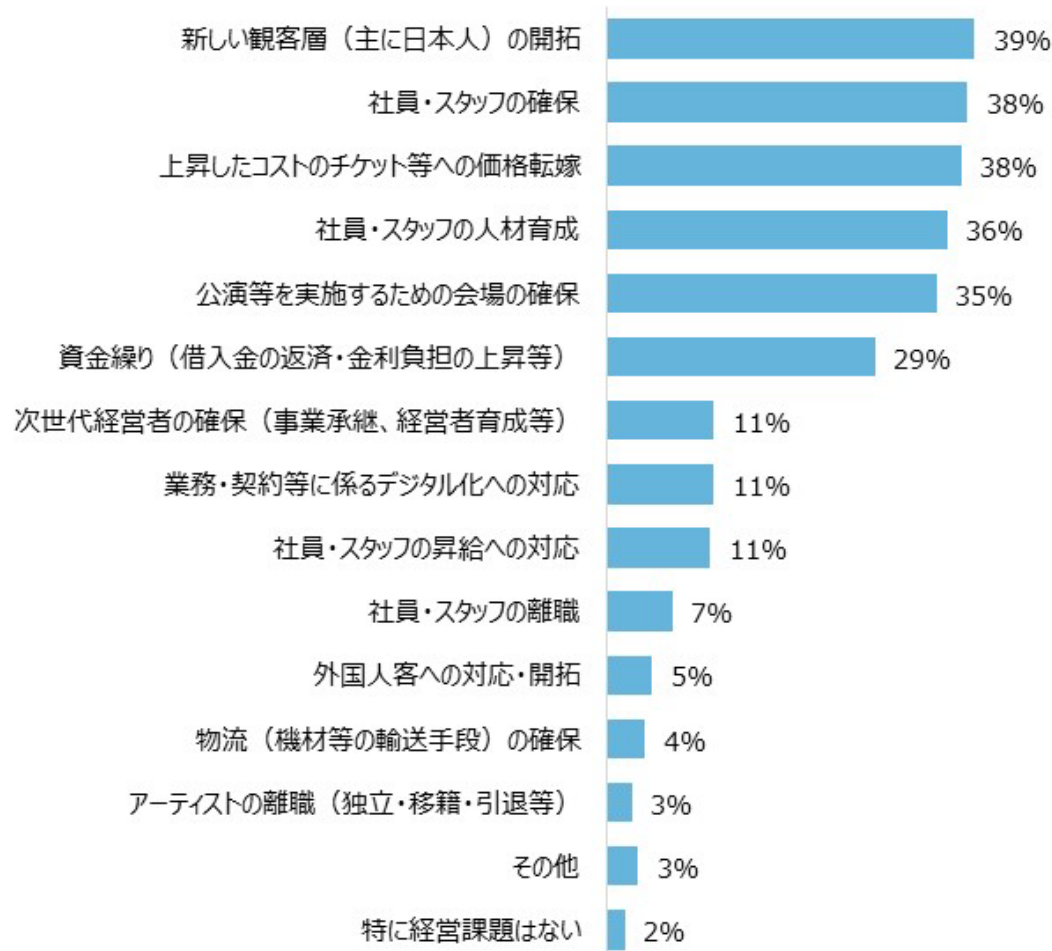


## 経営課題

➡「新しい観客層（主に日本人）の開拓」、「社員・スタッフの確保」、「上昇したコストのチケット等への価格転嫁」、「社員・スタッフの人材育成」、「公演等を実施するための会場の確保」を挙げた企業が多かった。

【直面している経営課題】

(n=273)

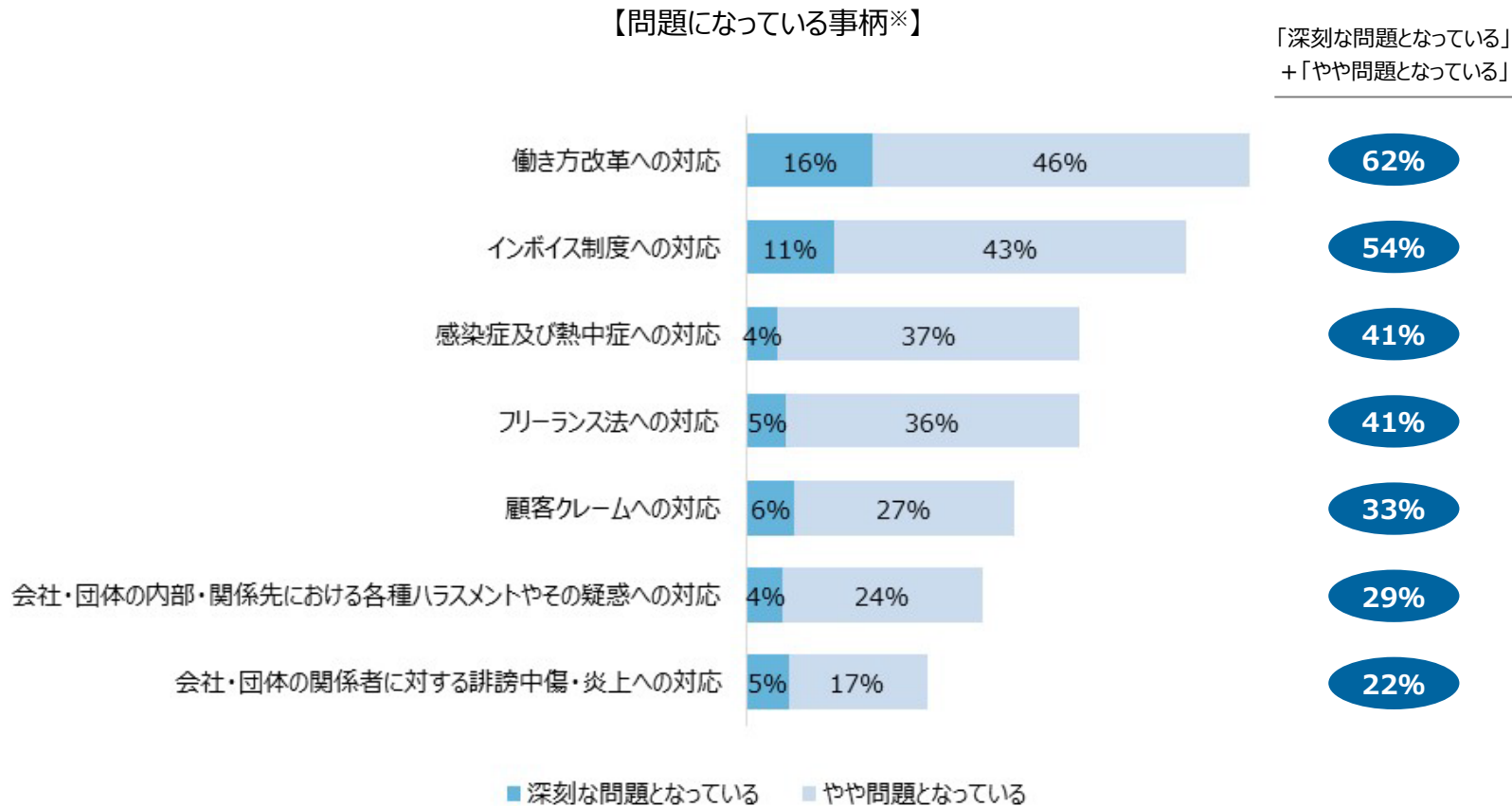


【設問文】

●あなたの会社・団体で直面している経営課題は何ですか。次のうちから最も重要なものを3つまで選択してください。

## 問題になっている事柄

➡「働き方改革への対応」、「インボイス制度への対応」は過半数の企業が問題になっていると回答。  
また、新たな問題として本年11月に施行された「フリーランス法への対応」も高い関心を集めている。



### 【設問文】

●あなたの会社・団体では次の項目が問題となっていますか/なっていませんか。それぞれあてはまるものを選択してください。

※本設問の選択肢は「深刻な問題となっている」、「やや問題となっている」、「問題となっていない」、「わからない・判断できない」の4択としているが、集計では「わからない・判断できない」を除いた残りの3択を分母として割合を算出している。それぞれの算出上の分母は「働き方改革への対応」から順番に258、252、260、226、256、249、253。

① 本報告書の構成

② 調査概要

③ 調査結果のサマリー

④ 舞台・ライブエンタメに関する各種統計・調査との比較

⑤ 統括団体別の結果

⑥ その他の属性別の結果

⑦ その他の集計結果（統括団体別）

参考）国勢調査を基にした整理

➡国勢調査の分類（職業分類・産業分類）は舞台・ライブエンタメ産業の把握に資するものになっていない。  
なお、「映像・音声情報制作業」には約10.6万人が従事しているとのこと。

		産業分類			
		映像・音声・文字情報制作業（41）			興行場（別掲を除く），興行団（80a）
			映像・音声情報制作業（41a）	映像・音声・文字情報制作に付帯するサービス業（416）	
職業分類	総数	284,220	106,450	34,600	77,880
	管理的職業従事者（A）	8,410	2,980	680	1,860
	専門的・技術的職業従事者（B）	167,040	73,520	22,290	38,930
	美術家，デザイナー，写真家，映像撮影者（22）	34,130	21,410	2,350	410
	音楽家，舞台芸術家（23）	22,920	22,040	830	27,960
	音楽家（231）	1,250	1,200	-	6,880
	舞踊家，俳優，演出家，演芸家（23a）	21,670	20,840	830	21,080
	事務従事者（C）	62,670	17,690	6,160	17,040
	販売従事者（D）	21,560	3,490	980	4,670
	サービス職業従事者（E）	1,650	280	160	12,210

出所）総務省「令和2年国勢調査」を基に芸術と創造作成

## 参考) 経済センサスを基にした整理 ( 1 / 3 )

➡経済産業省の特殊集計によると、舞台・ステージに関連する事業所（約1,500箇所）の従事者数は約14,600人、売上は約2,500億円。

産業大分類	売上（収入） （百万円）	事業所数	従業者数（人）
生活関連サービス業，娯楽業	137,620	578	6,829
製造業	41,785	257	2,487
建設業	22,488	122	1,162
サービス業（他に分類されないもの）	21,975	199	1,959
卸売業，小売業	9,962	89	555
不動産業，物品賃貸業	7,649	69	636
学術研究，専門・技術サービス業	3,472	68	305
情報通信業	2,871	42	208
運輸業，郵便業	2,034	6	50
教育，学習支援業	748	52	197
宿泊業，飲食サービス業	682	28	231
総計	<b>251,287</b>	1,510	<b>14,619</b>

出所) 経済産業省「『舞台技術サービス業』（仮称）の日本標準産業分類における取扱いについて」内の「平成28年経済センサス-活動調査における『舞台』又は『ステージ』に関係する業務を行う事業所（産業大分類）」  
（[https://www.soumu.go.jp/main\\_content/000837403.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/000837403.pdf)）を基に芸術と創造作成

## 参考) 経済センサスを基にした整理 (2 / 3)

➡舞台・ライブエンタメ事業関連構成員数(会員企業計)は、  
「貸金業」、「繊維機械製造業」などと類似の規模。

企業産業小 分類 コード	企業産業小分類	従業者数 (人)
152	製版業	17,631
443	貨物軽自動車運送業	16,393
932	労働団体	16,215
322	装身具・装飾品・ボタン・同関連品製造業(貴金属・宝石製を除く)	16,170
442	特定貨物自動車運送業	15,830
793	衣服裁縫修理業	15,443
247	金属線製品製造業(ねじ類を除く)	15,194
319	その他の輸送用機械器具製造業	15,153
285	ユニット部品製造業	15,025
641	貸金業	14,836
—	<b>舞台・ライブエンタメ事業関連企業構成員数(本調査結果)</b>	<b>14,583</b>
263	繊維機械製造業	14,453
803	競輪・競馬等の競走場, 競技団	14,257
723	行政書士事務所	13,684
299	その他の電気機械器具製造業	13,421
117	下着類製造業	12,816
232	非鉄金属第2次製錬・精製業(非鉄金属合金製造業を含む)	12,753
241	ブリキ缶・その他のめっき板等製品製造業	12,647
239	その他の非鉄金属製造業	11,933
933	学術・文化団体	11,522
315	産業用運搬車両・同部分品・附属品製造業	11,449

出所) 総務省統計局「経済センサス活動調査(令和3年)」を基に芸術と創造作成

## 参考) 経済センサスを基にした整理 (3 / 3)

➡舞台・ライブエンタメ事業関連売上高（会員企業計）は、  
「製材・木製品製造業」、「一般乗合旅客自動車運送業」などと類似の規模。

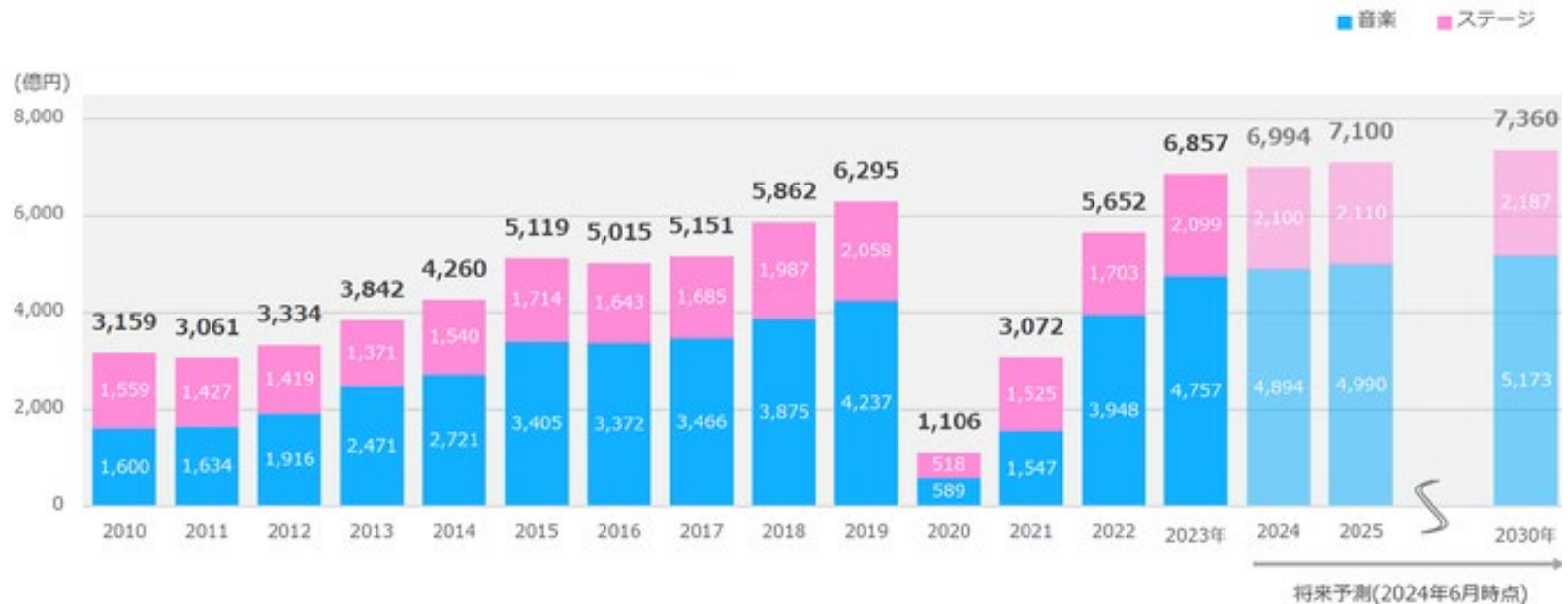
企業産業小 分類 コード	企業産業小分類	売上（収入） 金額（億円）
444	集配利用運送業	10,457
604	農耕用品小売業	10,413
242	洋食器・刃物・手道具・金物類製造業	10,390
836	医療に附帯するサービス業	10,340
235	非鉄金属素形材製造業	10,206
859	その他の社会保険・社会福祉・介護事業	9,818
373	電気通信に附帯するサービス業	9,675
103	茶・コーヒー製造業（清涼飲料を除く）	9,120
302	映像・音響機械器具製造業	8,997
121	製材業，木製品製造業	8,964
—	<b>舞台・ライブエンタメ事業関連企業構成員数（本調査結果）</b>	<b>8,691</b>
431	一般乗合旅客自動車運送業	8,674
767	喫茶店	8,427
219	その他の窯業・土石製品製造業	8,418
582	野菜・果実小売業	8,404
218	骨材・石工品等製造業	8,098
693	駐車場業	8,030
817	専修学校，各種学校	8,000
641	貸金業	7,806
814	高等学校，中等教育学校	7,716
819	幼保連携型認定こども園	7,575

出所) 総務省統計局「経済センサス活動調査（令和3年）」を基に芸術と創造作成

## 参考) ライブ・エンタテインメント白書を基にした整理

➡ぴあ総研の推計によると、

2023年のライブ・エンタテインメント市場規模は6,857億円。



出所) ぴあ株式会社 (ぴあ総研)「2023年のライブ・エンタテインメント市場規模 (確定値)」

[https://corporate.pia.jp/news/detail\\_live\\_entta\\_market\\_20240618.html](https://corporate.pia.jp/news/detail_live_entta_market_20240618.html)



① 本報告書の構成

② 調査概要

③ 調査結果のサマリー

④ 舞台・ライブエンタメに関する各種統計・調査との比較

⑤ 統括団体別の結果

⑥ その他の属性別の結果

⑦ その他の集計結果（統括団体別）

## 回収数（１／２）

➡JAMEは50%、ACPC・JPASNは80%を超えた。

### ■協会別の回収数・回収率

	全体	JAME	FMPJ	ACPC	JPASN
対象数（社・団体）	409	49	98	75	210
回収数（社・団体）	273	27	28	62	176
回収率	67%	55%	29%	83%	84%

### ■参考）各協会の担当分の回収数・回収率

	全体	JAME	FMPJ	ACPC	JPASN
対象数（社・団体）	-	49	89	71	200
回収数（社・団体）	-	27	20	58	168
回収率	-	55%	22%	82%	84%

# 回収数（2 / 2）

➡全体の回収数は昨年から微増。JPASNの回収数・回収率は減少。

## ■協会別の回収数の推移

（単位：社・団体）

	全体	JAME	FMPJ	ACPC	JPASN
2022年	166	16	23	34	97
2023年	271	20	25	49	193
2024年	273	27	28	62	176

## ■協会別の回収率の推移

	全体	JAME	FMPJ	ACPC	JPASN
2022年	-	-	-	-	-
2023年	-	18%	11%	64%	94%
2024年	-	55%	29%	83%	84%

※2022年の各協会の回収率は調査対象を定義していないため、また、2022年・2023年の全体の回収率は団体間の調査対象の重複を整理していないため算出不可

※JAME・FMPJは2023年と2024年で調査対象の定義を変えている（分母が大幅に減少している）

# 舞台・ライブエンタメ関連 構成員数（１／２）

■ ライブエンタメ関連 構成員数（回答企業累計）

（単位：人）

	全体	JAME	FMPJ	ACPC	JPASN
n数	272	27	28	62	175
全体	14,583	1,703	1,652	2,286	10,553
クリエイター・実演家	3,318	418	229	22	2,680
事業（アーティストマネジメント・制作等）	4,200	802	779	899	2,573
経営管理	1,735	273	194	351	1,090
技術・美術	2,014	68	59	145	1,803
その他	3,317	143	391	870	2,408

【設問文】

- 現在、あなたの会社・団体で舞台・ライブエンタテインメントに関する事業に従事している構成員の人数の規模を選択してください。
  - それでは、関わっている仕事の内容別の構成員数の規模を選択してください。
- ※公演の警備・サポート等で一時的に関与しているフタッフ（アルバイト等）は含みません。  
（一般社団法人緊急事態舞台芸術ネットワークのみ表示）
- ※雇用契約を結んでいない劇団員等の構成員も含めてお答えください。

# 舞台・ライブエンタメ関連 構成員数（2 / 2）

■ ライブエンタメ関連 構成員数（1社あたり）

（単位：人）

	全体	JAME	FMPJ	ACPC	JPASN
n数	272	27	28	62	175
全体	54	63	59	37	60
クリエイター・実演家	12	15	8	0	15
事業（アーティストマネジメント・制作等）	15	30	28	14	15
経営管理	6	10	7	6	6
技術・美術	7	3	2	2	10
その他	12	5	14	14	14

# 全体売上高（舞台・ライブエンタテインメント事業以外の収入も含めたもの）

## ■全体売上高

	全体	JAME	FMPJ	ACPC	JPASN
n数	272	27	28	62	175
回答企業累計（億円）	24,937	1,422	1,803	7,050	19,760
1 社あたり（億円）	92	53	64	114	113
1 人あたり（万円）	17,100	8,355	10,916	30,845	18,726

【設問文】

- あなたの会社・団体の直近の会計年度の「売上高」の規模はどのくらいですか。
  - それでは、直近の会計年度の「売上高」として、最も近いものを選択してください。
- ※舞台・ライブエンタテインメント事業以外の収入も含めた会社・団体全体の売上高を選択してください。

注)

- 各企業から申告された全売上高を累計したものであり、企業間の取引の重複分を重複分を相当程度含むと想定されることに留意されたい。

全体売上高（舞台・ライブエンタテインメント事業以外の収入も含めたもの）の増減

⇒FMPJ・ACPCは増加が多い。

JAMEは増加も多いが減少も多い。また、JPASNでは横ばいが多い。

■ 全体売上高の増減

(単位：社・団体)

	全体	JAME	FMPJ	ACPC	JPASN
n数	272	27	28	62	175
増加した	126	14	21	39	68
ほぼ横ばい	90	5	6	18	65
減少した	53	8	1	5	39
その他（一期前は会社・団体を設立していない等）	3	0	0	0	3

	全体	JAME	FMPJ	ACPC	JPASN
増加した	47%	<div><div></div></div> 52%	<div><div></div></div> 75%	<div><div></div></div> 63%	<div><div></div></div> 40%
ほぼ横ばい	33%	<div><div></div></div> 19%	<div><div></div></div> 21%	<div><div></div></div> 29%	<div><div></div></div> 38%
減少した	20%	<div><div></div></div> 30%	<div><div></div></div> 4%	<div><div></div></div> 8%	<div><div></div></div> 23%
増加した－減少した	27%	<div><div></div></div> 22%	<div><div></div></div> 71%	<div><div></div></div> 55%	<div><div></div></div> 17%

※割合は「その他（一期前は会社・団体を設立していない等）」を除いて算出

【設問文】

●直近の会計年度の「売上高」は、その一期前の会計年度と比べて増加しましたか・減少しましたか。

営業利益率

➡JAMEは2 極化、JPASNでは営業赤字及び低利益の企業が多い。

■ 営業利益（詳細）

(単位：社・団体)

	全体	JAME	FMPJ	ACPC	JPASN
n数	264	27	28	62	167
マイナス	57	5	3	7	44
プラス					
1~4%	47	1	9	15	28
5~9%	30	4	4	8	19
10~19%	25	4	4	10	11
20%~	22	3	2	8	10
答えられない	83	10	6	14	55

	全体	JAME	FMPJ	ACPC	JPASN
マイナス	31%	29%	14%	15%	39%
プラス					
1~4%	26%	6%	41%	31%	25%
5~9%	17%	24%	18%	17%	17%
10~19%	14%	24%	18%	21%	10%
20%~	12%	18%	9%	17%	9%

※割合は「答えられない」を除いて算出

【設問文】

（前提）「法人化の有無」を問う設問にて「法人化している」・「法人化していない（任意団体）」を選択した企業のみを対象

●あなたの会社・団体の直近の会計年度の「営業利益率」はプラスですかマイナスですか。

●では、「営業利益率」としてあてはまるものを選択してください。

※「営業利益率」とは「営業利益」を「売上高」で除したものです（営業利益/売上高）。また、「営業利益」とは、「売上高」から「売上原価」と「販売費（広告宣伝費、販売促進費、通信費等）および一般管理費（オフィスの賃貸料、社員の給料、水道光熱費、消耗品費、租税公課等）」を差し引いたものです。

※どうしてもお答えいただくことが難しい場合は、選択肢の最後に表示される「答えられない」を選択してください。



## 舞台・ライブエンタメ関連 売上高

⇒ACPCの1社あたり売上高・1人あたり売上高が大きい。

### ■ライブエンタメ関連 売上高

	全体	JAME	FMPJ	ACPC	JPASN
n数	212	18	22	48	138
回答企業累計（億円）	8,691	749	1,277	3,332	5,253
1社あたり（億円）	41	42	58	69	38
1人あたり（百万円）	75	63	108	245	59

### ■ライブエンタメ関連 売上高（回答企業累計のセグメント別内訳）

（単位：億円）

	全体	JAME	FMPJ	ACPC	JPASN
興行収入※1	6,269	248	710	2,964	3,473
出演料・演出料・脚本料および権利収入※2	921	335	252	83	689
グッズ販売収入およびファンクラブ会費収入	691	119	267	133	430
国・地方自治体・その他公的機関からの補助金・助成金等の収入※3	351	21	6	39	313
企業協賛金等その他の舞台・ライブエンタテインメント事業に関する収入	459	27	42	113	348

参考）舞台・ライブエンタメ関連 売上高：セグメント別売上高の発生有無

■セグメント別売上高の発生有無

(単位：社・団体)

	全体	JAME	FMPJ	ACPC	JPASN
n数	272	27	28	62	175
興行収入※1	231	23	26	60	142
出演料・演出料・脚本料および権利収入※2	160	27	22	27	97
グッズ販売収入およびファンクラブ会費収入	162	21	23	35	99
国・地方自治体・その他公的機関からの補助金・助成金等の収入※3	142	7	7	31	108
企業協賛金等その他の舞台・ライブエンタテインメント事業に関する収入	111	10	16	36	63
上記のいずれも発生していない※4	16	0	1	1	14

	全体	JAME	FMPJ	ACPC	JPASN
興行収入※1	85%	<div><div></div></div> 85%	<div><div></div></div> 93%	<div><div></div></div> 97%	<div><div></div></div> 81%
出演料・演出料・脚本料および権利収入※2	59%	<div><div></div></div> 100%	<div><div></div></div> 79%	<div><div></div></div> 44%	<div><div></div></div> 55%
グッズ販売収入およびファンクラブ会費収入	60%	<div><div></div></div> 78%	<div><div></div></div> 82%	<div><div></div></div> 56%	<div><div></div></div> 57%
国・地方自治体・その他公的機関からの補助金・助成金等の収入※3	52%	<div><div></div></div> 26%	<div><div></div></div> 25%	<div><div></div></div> 50%	<div><div></div></div> 62%
企業協賛金等その他の舞台・ライブエンタテインメント事業に関する収入	41%	<div><div></div></div> 37%	<div><div></div></div> 57%	<div><div></div></div> 58%	<div><div></div></div> 36%
上記のいずれも発生していない※4	6%	<div><div></div></div> 0%	<div><div></div></div> 4%	<div><div></div></div> 2%	<div><div></div></div> 8%

※1：興行収入（公演のチケット収入、作品の公演料、委員会等による分配金等）  
※2：出演料・演出料・脚本料および権利収入（著作権料・放映権料・印税・ロイヤリティ収入等）  
※3：国・地方自治体・その他公的機関からの補助金・助成金等の収入（舞台・ライブエンタテインメント事業に関連したもののみに限る）  
※4：上記のいずれも発生していない（売上全てが舞台・ライブエンタテインメント事業以外の収入）

【設問文】

● 次の収入のうち、あなたの会社・団体の直近の会計年度において発生したものを全て選択してください。

## 参考) 舞台・ライブエンタメ関連 売上高：セグメント別売上高の回答状況

⇒各セグメント売上高の割合の積み上げが130%以上、ライブエンタメ売上高の回答がないものは除外。

### ■ 各セグメント売上高の割合の合計値

	全体	JAME	FMPJ	ACPC	JPASN
n数	272	27	28	62	175
0%	0	0	0	0	0
1%~100%未満	69	9	9	22	37
100~130%未満	196	16	19	38	134
130%以上	7	2	0	2	4

⇒130%以上は分析対象外に

### ■ ライブエンタメ関連 売上高の割合

	全体	JAME	FMPJ	ACPC	JPASN
n数	265	27	28	62	175
0%及び非回答	53	7	6	12	33
1%~10%未満	9	0	0	2	7
10%~50%未満	15	1	1	3	10
50%~90%未満	39	8	5	6	24
90%~100%未満	75	8	12	18	46
100%	54	1	4	9	41
101%~	20	0	0	10	10

⇒0%及び非回答は分析対象外に

参考) 全会員企業が回答したと仮定した場合の推計値 ( 1 / 2 )

■ライブエンタメ関連 構成員数 (全会員企業が回答したと仮定した場合の推計値)

(単位 : 人)

	ACPC		JPASN	
	実績値	推計値	実績値	推計値
全体	2,286	2,765	10,553	12,591
クリエイター・実演家	22	27	2,680	3,197
事業 (アーティストマネジメント・制作等)	899	1,087	2,573	3,069
経営管理	351	425	1,090	1,300
技術・美術	145	175	1,803	2,151
その他	870	1,052	2,408	2,873

参考）全会員企業が回答したと仮定した場合の推計値（２／２）

■全売上高（全会員企業が回答したと仮定した場合の推計値）

（単位：億円）

全売上高

ACPC	
実績値	推計値
7,050	8,528

JPASN	
実績値	推計値
19,760	23,578

■ライブエンタメ関連 売上高（全会員企業が回答したと仮定した場合の推計値）

（単位：億円）

合計
興行収入※1
出演料・演出料・脚本料および権利収入※2
グッズ販売収入およびファンクラブ会費収入
国・地方自治体・その他公的機関からの補助金・助成金等の収入※3
企業協賛金等その他の舞台・ライブエンタテインメント事業に関する収入

ACPC	
実績値	推計値
3,332	4,031
2,964	3,586
83	100
133	161
39	47
113	137

JPASN	
実績値	推計値
5,253	6,268
3,473	4,144
689	822
430	513
313	374
348	415

業況・景況

➡統括団体ごとに認識が大きく異なる。FMPJ・ACPCでは、会社の業況・業界の景況ともに良い会社が多い。  
JAMEでは景況は良くないが業況の認識のほうが良い。JPASNでは業況・景況ともに良くない傾向。

■業況・景況 ※「良い」・「どちらかという良い」を「良い」に、「悪い」・「どちらかという悪い」を「悪い」にまとめて集計（「良くなった」・「悪くなった」も同様）。

		全体	JAME	FMPJ	ACPC	JPASN
現状に関する認識						
貴社・団体の業況	良い	36%	<div><div></div></div> 37%	<div><div></div></div> 61%	<div><div></div></div> 61%	<div><div></div></div> 26%
	どちらともいえない	38%	<div><div></div></div> 41%	<div><div></div></div> 29%	<div><div></div></div> 31%	<div><div></div></div> 41%
	悪い	26%	<div><div></div></div> 22%	<div><div></div></div> 11%	<div><div></div></div> 8%	<div><div></div></div> 33%
	良い－悪い	10%	<div><div></div></div> 15%	<div><div></div></div> 50%	<div><div></div></div> 53%	<div><div></div></div> -7%
業界（舞台・ライブエンタテインメント産業）全体の景況	良い	30%	<div><div></div></div> 26%	<div><div></div></div> 64%	<div><div></div></div> 61%	<div><div></div></div> 18%
	どちらともいえない	40%	<div><div></div></div> 44%	<div><div></div></div> 32%	<div><div></div></div> 32%	<div><div></div></div> 43%
	悪い	29%	<div><div></div></div> 30%	<div><div></div></div> 4%	<div><div></div></div> 6%	<div><div></div></div> 39%
	良い－悪い	1%	<div><div></div></div> -4%	<div><div></div></div> 61%	<div><div></div></div> 55%	<div><div></div></div> -21%
昨年同時期と現状を比較した変化に関する認識						
貴社・団体の業況	良くなった	39%	<div><div></div></div> 37%	<div><div></div></div> 61%	<div><div></div></div> 47%	<div><div></div></div> 35%
	変わらない	37%	<div><div></div></div> 33%	<div><div></div></div> 32%	<div><div></div></div> 40%	<div><div></div></div> 38%
	悪くなった	24%	<div><div></div></div> 30%	<div><div></div></div> 7%	<div><div></div></div> 13%	<div><div></div></div> 27%
	良くなった－悪くなった	15%	<div><div></div></div> 7%	<div><div></div></div> 54%	<div><div></div></div> 34%	<div><div></div></div> 7%
業界（舞台・ライブエンタテインメント産業）全体の景況	良くなった	43%	<div><div></div></div> 41%	<div><div></div></div> 71%	<div><div></div></div> 61%	<div><div></div></div> 35%
	変わらない	36%	<div><div></div></div> 26%	<div><div></div></div> 21%	<div><div></div></div> 32%	<div><div></div></div> 40%
	悪くなった	21%	<div><div></div></div> 33%	<div><div></div></div> 7%	<div><div></div></div> 6%	<div><div></div></div> 25%
	良くなった－悪くなった	22%	<div><div></div></div> 7%	<div><div></div></div> 64%	<div><div></div></div> 55%	<div><div></div></div> 10%

【設問文】

- 次の項目に関する、あなたの「現状に関する認識」としてそれぞれあてはまるものを選択してください。
- 次の項目に関する、あなたの「昨年同時期と現状を比較した変化に関する認識」としてそれぞれあてはまるものを選択してください。

※本アンケートに記入されている方の認識で構いません。

客単価・客数

➡どの統括団体でも客単価・客数は減ったと認識している企業が多い。特にFMPJ・ACPCでその傾向が強い。

■客単価・客数

		全体	JAME	FMPJ	ACPC	JPASN
貴社・団体が行う公演等の客単価 (チケット・グッズ等も含む)	増えた	43%	<div><div></div></div> 37%	<div><div></div></div> 54%	<div><div></div></div> 65%	<div><div></div></div> 39%
	変わらない	47%	<div><div></div></div> 44%	<div><div></div></div> 43%	<div><div></div></div> 29%	<div><div></div></div> 52%
	減った	10%	<div><div></div></div> 19%	<div><div></div></div> 4%	<div><div></div></div> 6%	<div><div></div></div> 9%
	増えた－減った	34%	<div><div></div></div> 19%	<div><div></div></div> 50%	<div><div></div></div> 58%	<div><div></div></div> 30%
貴社・団体が行う公演等の客数	増えた	35%	<div><div></div></div> 37%	<div><div></div></div> 61%	<div><div></div></div> 58%	<div><div></div></div> 27%
	変わらない	45%	<div><div></div></div> 33%	<div><div></div></div> 32%	<div><div></div></div> 32%	<div><div></div></div> 51%
	減った	21%	<div><div></div></div> 30%	<div><div></div></div> 7%	<div><div></div></div> 10%	<div><div></div></div> 23%
	増えた－減った	14%	<div><div></div></div> 7%	<div><div></div></div> 54%	<div><div></div></div> 48%	<div><div></div></div> 4%

【設問文】

● 次の項目に関する、あなたの「昨年同時期と現状を比較した変化に関する認識」としてそれぞれあてはまるものを選択してください。

※本アンケートに記入されている方の認識で構いません。

## 経営課題

➡JAMEは「次世代経営者の確保」、ACPCは「公演等を実施するための会場の確保」、JPASNは「新しい観客層の開拓」、「資金繰り」が高いことが特徴。

### ■ 経営課題

	全体	JAME	FMPJ	ACPC	JPASN
n数	273	27	28	62	176
新しい観客層（主に日本人）の開拓	39%	33%	36%	18%	45%
社員・スタッフの確保	38%	37%	54%	52%	31%
上昇したコストのチケット等への価格転嫁	38%	30%	21%	32%	43%
社員・スタッフの人材育成	36%	48%	50%	47%	32%
公演等を実施するための会場の確保	35%	37%	36%	60%	29%
資金繰り（借入金の返済・金利負担の上昇等）	29%	11%	14%	10%	38%
次世代経営者の確保（事業承継、経営者育成等）	11%	22%	11%	10%	11%
業務・契約等に係るデジタル化への対応	11%	15%	18%	15%	11%
社員・スタッフの昇給への対応	11%	4%	11%	10%	13%
社員・スタッフの離職	7%	11%	4%	8%	6%
外国人客への対応・開拓	5%	4%	7%	0%	6%
物流（機材等の輸送手段）の確保	4%	4%	4%	6%	3%
アーティストの離職（独立・移籍・引退等）	3%	11%	7%	3%	1%
その他	3%	4%	0%	2%	4%
特に経営課題はない	2%	0%	4%	3%	1%

※全体と比較して、各統括団体の割合が高いもののうち、（各統括団体ごと）上位2位までに赤枠をつけている。

#### 【設問文】

●あなたの会社・団体で直面している経営課題は何ですか。次のうちから最も重要なものを3つまで選択してください。



問題になっている事柄

➡JAMEでは「会社・団体の関係者に対する誹謗中傷・炎上への対応」、  
FMPJ・ACPCでは「顧客クレームへの対応」、JPASNでは「フリーランス法への対応」が高い傾向。

■ 問題となっている事柄 ※「深刻な問題となっている」・「やや問題となっている」の合計

	全体	JAME	FMPJ	ACPC	JPASN
n数	256	24	27	57	166
働き方改革への対応	62%	<div><div></div></div> 54%	<div><div></div></div> 63%	<div><div></div></div> 75%	<div><div></div></div> 59%
インボイス制度への対応	54%	<div><div></div></div> 38%	<div><div></div></div> 42%	<div><div></div></div> 54%	<div><div></div></div> 57%
感染症及び熱中症への対応	41%	<div><div></div></div> 38%	<div><div></div></div> 33%	<div><div></div></div> 43%	<div><div></div></div> 43%
フリーランス法への対応	41%	<div><div></div></div> 29%	<div><div></div></div> 32%	<div><div></div></div> 25%	<div><div></div></div> 47%
顧客クレームへの対応	33%	<div><div></div></div> 13%	<div><div></div></div> 37%	<div><div></div></div> 65%	<div><div></div></div> 25%
会社・団体の内部・関係先における各種ハラスメントやその疑惑への対応	29%	<div><div></div></div> 22%	<div><div></div></div> 22%	<div><div></div></div> 33%	<div><div></div></div> 29%
会社・団体の関係者に対する誹謗中傷・炎上への対応	22%	<div><div></div></div> 39%	<div><div></div></div> 21%	<div><div></div></div> 25%	<div><div></div></div> 20%

※全体と比較して、各統括団体の割合が高いもののうち、最も高い項目に赤枠をつけている。

【設問文】

●あなたの会社・団体では次の項目が問題となっていますか/なっていませんか。それぞれあてはまるものを選択してください。

注)

●本設問の選択肢は「深刻な問題となっている」、「やや問題となっている」、「問題となっていない」、「わからない・判断できない」の4択としているが、集計では「わからない・判断できない」を除いた残りの3択を分母として割合を算出している。また、ここでの表中の割合は「深刻な問題となっている」と「やや問題となっている」を合計した値である。

① 本報告書の構成

② 調査概要

③ 調査結果のサマリー

④ 舞台・ライブエンタメに関する各種統計・調査との比較

⑤ 統括団体別の結果

⑥ その他の属性別の結果

⑦ その他の集計結果（統括団体別）

## 本章の見方

⇒「中心となる事業内容」、「芸術分野」、「所在都道府県」、「全体売上高」を基にクロス集計を行った。

設問項目	選択方式	選択肢	回答数	割合	分析対象	備考
中心となる事業内容	SA	公演の主催（興行主）	110	40%	●	選択肢を統合し「公演の運営・サポート」に
		アーティストマネジメント	42	15%	●	
		公演・作品の制作	36	13%	●	
		舞台技術	21	8%	●	
		公演の運営	18	7%	●	
		公演の運営サポート（票券、整理・警備、広報・広告宣伝等）	11	4%	●	
		劇場・音楽ホールの運営（含む指定管理業務）	13	5%	×	
		著作権管理	2	1%	×	
		ファンクラブ運営	0	0%	×	
		その他の事業	15	5%	×	
		判断できない	5	2%	×	
芸術分野	MA	音楽①（ポップス、ロック、ダンスミュージック、演歌・歌謡曲、ジャズ等）	138	51%	●	「音楽①（ポップス、ロック等）」と省略表記
		音楽②（クラシック、オペラ等）	60	22%	●	
		演劇・ミュージカル	201	74%	●	
		ダンス・バレエ・舞踊	66	24%	●	
		伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、文楽・浄瑠璃、雅楽等）	48	18%	●	「伝統芸能」と省略表記
		演芸（漫才・コント、落語、大道芸等）	76	28%	●	
		映画・映像作品	58	21%	●	「演芸」と省略表記
		あてはまるものはない	2	1%	×	
所在都道府県	SA	東京都	190	70%	●	
		大阪府	20	7%	●	
		その他	63	23%	●	
全体売上高	SA	1,000万円未満	29	11%	●	選択肢を統合し「100億円以上」に
		1,000万円～1億円未満	56	21%	●	
		1億円～10億円未満	81	30%	●	
		10億円～100億円未満	74	27%	●	
		100億円～1,000億円未満	27	10%	●	
		1,000億円以上	5	2%	●	

## 業況・景況

➡業況は「公演の運営・運営サポート」の事業で良く、「公演の主催」、「公演・作品の制作」で悪い傾向。

また、「ポップス等」の分野で良く、「演劇・ミュージカル」で良くない。売上規模と相関し、規模が小さいほど良くない。

		貴社・団体の業況						業界（舞台・ライブエンタテインメント産業）全体の景況					
		良い		悪い		良い－悪い		良い		悪い		良い－悪い	
中心となる 事業内容	公演の主催（興行主）		35%		37%		-2%		30%		39%		-9%
	アーティストマネジメント		38%		19%		19%		31%		26%		5%
	公演・作品の制作		17%		25%		-8%		22%		31%		-8%
	舞台技術		38%		24%		14%		43%		14%		29%
	公演の運営・公演の運営サポート		59%		3%		55%		48%		10%		38%
芸術分野	音楽①（ポップス、ロック等）		49%		18%		30%		46%		17%		29%
	音楽②（クラシック、オペラ等）		43%		22%		22%		37%		23%		13%
	演劇・ミュージカル		31%		29%		2%		22%		35%		-13%
	ダンス・バレエ・舞踊		45%		20%		26%		39%		20%		20%
	伝統芸能		38%		21%		17%		29%		25%		4%
	演芸		43%		18%		25%		41%		21%		20%
	映画・映像作品		34%		24%		10%		28%		33%		-5%
所在 都道府県	東京都		34%		26%		8%		28%		34%		-6%
	大阪府		55%		25%		30%		45%		25%		20%
	その他		35%		25%		10%		33%		17%		16%
全体 売上高	1,000万円未満		7%		55%		-48%		17%		45%		-28%
	1,000万円～1億円未満		11%		39%		-29%		7%		45%		-38%
	1億円～10億円未満		35%		27%		7%		27%		37%		-10%
	10億円～100億円未満		53%		9%		43%		43%		9%		34%
	100億円以上		69%		13%		56%		59%		16%		44%

## 客単価・客数

➡客単価・客数ともに「クラシック等」で「増えた」が多く、「演劇・ミュージカル」で少ない。

こちらも、売上規模と相関し、1,000万円未満では客単価・客数ともに「減った」が多い。

		貴社・団体が行う公演等の客単価（チケット・グッズ等も含む）			貴社・団体が行う公演等の客数		
		増えた	減った	増えた - 減った	増えた	減った	増えた - 減った
中心となる 事業内容	公演の主催（興行主）	49%	8%	41%	35%	25%	10%
	アーティストマネジメント	40%	14%	26%	48%	21%	26%
	公演・作品の制作	36%	11%	25%	31%	17%	14%
	舞台技術	43%	5%	38%	33%	10%	24%
	公演の運営・公演の運営サポート	45%	14%	31%	41%	17%	24%
芸術分野	音楽①（ポップス、ロック等）	50%	7%	43%	45%	15%	30%
	音楽②（クラシック、オペラ等）	60%	3%	57%	47%	12%	35%
	演劇・ミュージカル	45%	10%	35%	31%	23%	8%
	ダンス・バレエ・舞踊	50%	2%	48%	45%	14%	32%
	伝統芸能	52%	0%	52%	44%	15%	29%
	演芸	50%	4%	46%	41%	11%	30%
	映画・映像作品	53%	7%	47%	47%	17%	29%
所在 都道府県	東京都	37%	12%	25%	31%	22%	9%
	大阪府	70%	0%	70%	55%	15%	40%
	その他	54%	5%	49%	40%	17%	22%
全体 売上高	1,000万円未満	21%	28%	-7%	17%	31%	-14%
	1,000万円～1億円未満	29%	13%	16%	18%	32%	-14%
	1億円～10億円未満	48%	7%	41%	36%	23%	12%
	10億円～100億円未満	50%	4%	46%	45%	11%	34%
	100億円以上	63%	6%	56%	56%	6%	50%

## 経営課題（1 / 5）：社員・スタッフ関連

➡「舞台技術」を中心事業としている企業では、社員・スタッフの「確保・育成・昇給対応」の割合が非常に高い。  
また、「確保・育成」については売上規模と相関し、規模が大きくなるほど関心が高い。

		社員・スタッフの確保	社員・スタッフの人材育成	社員・スタッフの昇給への対応
中心となる事業内容	公演の主催（興行主）	29%	27%	4%
	アーティストマネジメント	40%	43%	7%
	公演・作品の制作	36%	31%	14%
	舞台技術	71%	76%	38%
	公演の運営・公演の運営サポート	38%	38%	17%
芸術分野	音楽①（ポップス、ロック等）	50%	49%	11%
	音楽②（クラシック、オペラ等）	35%	52%	20%
	演劇・ミュージカル	34%	35%	12%
	ダンス・バレエ・舞踊	41%	55%	20%
	伝統芸能	42%	56%	17%
	演芸	46%	51%	20%
	映画・映像作品	29%	48%	14%
所在都道府県	東京都	37%	34%	12%
	大阪府	45%	60%	5%
	その他	41%	37%	11%
全体売上高	1,000万円未満	21%	3%	14%
	1,000万円～1億円未満	23%	16%	7%
	1億円～10億円未満	42%	36%	22%
	10億円～100億円未満	50%	54%	4%
	100億円以上	47%	59%	3%

## 経営課題（2/5）：新しい観客層（主に日本人）の開拓

- ➡分野別では「演劇・ミュージカル」で割合が高く、「クラシック等」で低い。  
売上規模と相関し、規模が小さくなるほど関心が高い。

		新しい観客層（主に日本人）の開拓	
中心となる事業内容	公演の主催（興行主）	<div><div></div></div>	49%
	アーティストマネジメント	<div><div></div></div>	40%
	公演・作品の制作	<div><div></div></div>	36%
	舞台技術	<div><div></div></div>	10%
	公演の運営・公演の運営サポート	<div><div></div></div>	28%
芸術分野	音楽①（ポップス、ロック等）	<div><div></div></div>	33%
	音楽②（クラシック、オペラ等）	<div><div></div></div>	27%
	演劇・ミュージカル	<div><div></div></div>	42%
	ダンス・バレエ・舞踊	<div><div></div></div>	30%
	伝統芸能	<div><div></div></div>	35%
	演芸	<div><div></div></div>	42%
	映画・映像作品	<div><div></div></div>	36%
所在都道府県	東京都	<div><div></div></div>	41%
	大阪府	<div><div></div></div>	35%
	その他	<div><div></div></div>	35%
全体売上高	1,000万円未満	<div><div></div></div>	62%
	1,000万円～1億円未満	<div><div></div></div>	52%
	1億円～10億円未満	<div><div></div></div>	35%
	10億円～100億円未満	<div><div></div></div>	32%
	100億円以上	<div><div></div></div>	25%

## 経営課題（3 / 5）：上昇したコストのチケット等への価格転嫁




















- ➡分野別では「演劇・ミュージカル」で割合が高く、「クラシック等」で低い。前述の「客単価」の結果と近似。  
また、「演芸」も低く、「映画」は高い。売上規模別では、小規模及び大規模の企業で課題意識が強かった。

		上昇したコストのチケット等への価格転嫁	
中心となる事業内容	公演の主催（興行主）	<div></div>	59%
	アーティストマネジメント	<div></div>	31%
	公演・作品の制作	<div></div>	39%
	舞台技術	<div></div>	5%
	公演の運営・公演の運営サポート	<div></div>	17%
芸術分野	音楽①（ポップス、ロック等）	<div></div>	30%
	音楽②（クラシック、オペラ等）	<div></div>	23%
	演劇・ミュージカル	<div></div>	42%
	ダンス・バレエ・舞踊	<div></div>	26%
	伝統芸能	<div></div>	27%
	演芸	<div></div>	21%
	映画・映像作品	<div></div>	38%
所在都道府県	東京都	<div></div>	40%
	大阪府	<div></div>	40%
	その他	<div></div>	30%
全体売上高	1,000万円未満	<div></div>	52%
	1,000万円～1億円未満	<div></div>	46%
	1億円～10億円未満	<div></div>	28%
	10億円～100億円未満	<div></div>	28%
	100億円以上	<div></div>	53%



## 経営課題（４／５）：公演等を実施するための会場の確保

➡分野別では「ポップス等」、「クラシック等」の音楽分野で割合が高い。一方、「伝統芸能」は低い。  
また、所在地別では「大阪府」の割合が高く、会場確保が課題となっている。

		公演等を実施するための会場の確保	
中心となる事業内容	公演の主催（興行主）		45%
	アーティストマネジメント		33%
	公演・作品の制作		25%
	舞台技術		0%
	公演の運営・公演の運営サポート		52%
芸術分野	音楽①（ポップス、ロック等）		37%
	音楽②（クラシック、オペラ等）		35%
	演劇・ミュージカル		33%
	ダンス・バレエ・舞踊		30%
	伝統芸能		25%
	演芸		32%
	映画・映像作品		34%
所在地 都道府県	東京都		35%
	大阪府		55%
	その他		30%
全体 売上高	1,000万円未満		14%
	1,000万円～1億円未満		45%
	1億円～10億円未満		32%
	10億円～100億円未満		36%
	100億円以上		41%

## 経営課題（5/5）：全項目の結果

➡全体で見ると、舞台技術の「人材確保・人材育成」、

小規模企業（全体売上高1,000万円未満）の「新しい顧客層の開拓」への課題意識が特に強い。

		新しい顧客層～	社員～の確保	～価格転嫁	社員～の人材育成	～会場の確保	資金繰り～	次世代経営者～	～デジタル化～	社員～の昇給～	社員～の離職	外国人客～	アーティストの離職～	物流～
中心となる事業内容	公演の主催（興行主）	49%	29%	59%	27%	45%	34%	5%	11%	4%	4%	2%	2%	5%
	アーティストマネジメント	40%	40%	31%	43%	33%	17%	14%	17%	7%	5%	7%	7%	5%
	公演・作品の制作	36%	36%	39%	31%	25%	44%	8%	8%	14%	6%	6%	3%	0%
	舞台技術	10%	71%	5%	76%	0%	29%	19%	14%	38%	14%	0%	0%	0%
	公演の運営・公演の運営サポート	28%	38%	17%	38%	52%	17%	10%	10%	17%	10%	3%	0%	10%
芸術分野	音楽①（ポップス、ロック等）	33%	50%	30%	49%	37%	15%	14%	12%	11%	7%	4%	2%	4%
	音楽②（クラシック、オペラ等）	27%	35%	23%	52%	35%	20%	20%	15%	20%	13%	7%	2%	0%
	演劇・ミュージカル	42%	34%	42%	35%	33%	33%	12%	8%	12%	7%	5%	1%	3%
	ダンス・バレエ・舞踊	30%	41%	26%	55%	30%	21%	18%	12%	20%	6%	8%	2%	0%
	伝統芸能	35%	42%	27%	56%	25%	19%	23%	8%	17%	10%	8%	0%	0%
	演芸	42%	46%	21%	51%	32%	16%	14%	11%	20%	5%	9%	3%	0%
	映画・映像作品	36%	29%	38%	48%	34%	22%	19%	12%	14%	10%	9%	3%	2%
所在都道府県	東京都	41%	37%	40%	34%	35%	30%	10%	12%	12%	7%	5%	3%	4%
	大阪府	35%	45%	40%	60%	55%	15%	10%	10%	5%	5%	10%	5%	0%
	その他	35%	41%	30%	37%	30%	29%	16%	11%	11%	8%	3%	2%	5%
全体売上高	1,000万円未満	62%	21%	52%	3%	14%	59%	3%	10%	14%	0%	0%	3%	3%
	1,000万円～1億円未満	52%	23%	46%	16%	45%	41%	9%	5%	7%	7%	2%	2%	4%
	1億円～10億円未満	35%	42%	28%	36%	32%	31%	17%	11%	22%	10%	5%	4%	2%
	10億円～100億円未満	32%	50%	28%	54%	36%	16%	8%	18%	4%	5%	8%	1%	5%
	100億円以上	25%	47%	53%	59%	41%	3%	16%	9%	3%	9%	6%	3%	6%

## 問題になっている事柄（１／６）：働き方改革への対応

➡事業内容別では「舞台技術」、「公演の運営・運営サポート」で特に問題になっている。

分野別では「伝統芸能」の割合が高い。売上規模別では1億円～10億円の企業で高い。

		働き方改革への対応	
中心となる 事業内容	公演の主催（興行主）	<div></div>	60%
	アーティストマネジメント	<div></div>	50%
	公演・作品の制作	<div></div>	60%
	舞台技術	<div></div>	85%
	公演の運営・公演の運営サポート	<div></div>	73%
芸術分野	音楽①（ポップス、ロック等）	<div></div>	64%
	音楽②（クラシック、オペラ等）	<div></div>	59%
	演劇・ミュージカル	<div></div>	62%
	ダンス・バレエ・舞踊	<div></div>	55%
	伝統芸能	<div></div>	66%
	演芸	<div></div>	55%
	映画・映像作品	<div></div>	57%
所在 都道府県	東京都	<div></div>	63%
	大阪府	<div></div>	65%
	その他	<div></div>	57%
全体 売上高	1,000万円未満	<div></div>	28%
	1,000万円～1億円未満	<div></div>	45%
	1億円～10億円未満	<div></div>	74%
	10億円～100億円未満	<div></div>	70%
	100億円以上	<div></div>	63%

## 問題になっている事柄（２／６）：インボイス制度への対応





















➡「公演の主催」、「公演・作品の制作」を中心事業としている企業で高い傾向。

また、「東京・大阪以外」に所在する企業で高い。売上規模別では規模が小さくなるほど割合が高い。

		インボイス制度への対応	
中心となる 事業内容	公演の主催（興行主）	<div><div></div></div>	65%
	アーティストマネジメント	<div><div></div></div>	38%
	公演・作品の制作	<div><div></div></div>	61%
	舞台技術	<div><div></div></div>	45%
	公演の運営・公演の運営サポート	<div><div></div></div>	48%
芸術分野	音楽①（ポップス、ロック等）	<div><div></div></div>	51%
	音楽②（クラシック、オペラ等）	<div><div></div></div>	55%
	演劇・ミュージカル	<div><div></div></div>	54%
	ダンス・バレエ・舞踊	<div><div></div></div>	47%
	伝統芸能	<div><div></div></div>	52%
	演芸	<div><div></div></div>	49%
	映画・映像作品	<div><div></div></div>	44%
所在 都道府県	東京都	<div><div></div></div>	53%
	大阪府	<div><div></div></div>	45%
	その他	<div><div></div></div>	61%
全体 売上高	1,000万円未満	<div><div></div></div>	68%
	1,000万円～1億円未満	<div><div></div></div>	59%
	1億円～10億円未満	<div><div></div></div>	55%
	10億円～100億円未満	<div><div></div></div>	56%
	100億円以上	<div><div></div></div>	30%

## 問題になっている事柄（３／６）：感染症及び熱中症への対応

⇒「東京・大阪以外」に所在する企業で高い。

		感染症及び熱中症への対応	
中心となる事業内容	公演の主催（興行主）		42%
	アーティストマネジメント		31%
	公演・作品の制作		44%
	舞台技術		35%
	公演の運営・公演の運営サポート		41%
芸術分野	音楽①（ポップス、ロック等）		38%
	音楽②（クラシック、オペラ等）		37%
	演劇・ミュージカル		42%
	ダンス・バレエ・舞踊		39%
	伝統芸能		37%
	演芸		36%
	映画・映像作品		44%
所在都道府県	東京都		39%
	大阪府		35%
	その他		49%
全体売上高	1,000万円未満		44%
	1,000万円～1億円未満		29%
	1億円～10億円未満		41%
	10億円～100億円未満		47%
	100億円以上		45%

## 問題になっている事柄（４／６）：フリーランス法への対応

➡「公演・作品の制作」、「舞台技術」を中心事業とする企業で割合が高い。

分野別では「演劇・ミュージカル」で高い。売上規模が1千万円～1億円の企業で特に問題となっている傾向。

		フリーランス法への対応	
中心となる 事業内容	公演の主催（興行主）	<div></div>	45%
	アーティストマネジメント	<div></div>	30%
	公演・作品の制作	<div></div>	56%
	舞台技術	<div></div>	58%
	公演の運営・公演の運営サポート	<div></div>	8%
芸術分野	音楽①（ポップス、ロック等）	<div></div>	34%
	音楽②（クラシック、オペラ等）	<div></div>	27%
	演劇・ミュージカル	<div></div>	43%
	ダンス・バレエ・舞踊	<div></div>	34%
	伝統芸能	<div></div>	37%
	演芸	<div></div>	27%
	映画・映像作品	<div></div>	35%
所在 都道府県	東京都	<div></div>	43%
	大阪府	<div></div>	32%
	その他	<div></div>	38%
全体 売上高	1,000万円未満	<div></div>	43%
	1,000万円～1億円未満	<div></div>	55%
	1億円～10億円未満	<div></div>	39%
	10億円～100億円未満	<div></div>	37%
	100億円以上	<div></div>	29%

**問題になっている事柄（５／６）：顧客クレームへの対応、会社・団体の関係者に対する誹謗中傷・炎上への対応**  
**➡クレーム対応は「公演の主催」、「公演の運営・運営サポート」で、分野別では「ポップス等」、「伝統芸能」で高い。**  
**炎上対応は「アーティストマネジメント」で高い。ともに売上規模と相関し、規模が大きい企業で問題意識が強い。**

		顧客クレームへの対応	会社・団体の関係者に対する 誹謗中傷・炎上への対応
中心となる 事業内容	公演の主催（興行主）	41%	25%
	アーティストマネジメント	13%	28%
	公演・作品の制作	24%	18%
	舞台技術	12%	11%
	公演の運営・公演の運営サポート	62%	20%
芸術分野	音楽①（ポップス、ロック等）	41%	26%
	音楽②（クラシック、オペラ等）	38%	19%
	演劇・ミュージカル	30%	21%
	ダンス・バレエ・舞踊	33%	21%
	伝統芸能	40%	27%
	演芸	34%	22%
	映画・映像作品	29%	32%
所在 都道府県	東京都	30%	22%
	大阪府	47%	32%
	その他	37%	21%
全体 売上高	1,000万円未満	0%	3%
	1,000万円～1億円未満	24%	14%
	1億円～10億円未満	26%	17%
	10億円～100億円未満	52%	35%
	100億円以上	52%	41%

問題になっている事柄（6 / 6）：会社・団体の内部・関係先における各種ハラスメントやその疑惑への対応

➡「伝統芸能」の割合が高い。売上規模別では、1億円以上の企業の割合が高い。

規模が小さい（1億円未満）の企業では当該事項に関する認識が弱いともいえる。

		会社・団体の内部・関係先における各種ハラスメントやその疑惑への対応	
中心となる事業内容	公演の主催（興行主）		29%
	アーティストマネジメント		25%
	公演・作品の制作		34%
	舞台技術		32%
	公演の運営・公演の運営サポート		35%
芸術分野	音楽①（ポップス、ロック等）		27%
	音楽②（クラシック、オペラ等）		34%
	演劇・ミュージカル		30%
	ダンス・バレエ・舞踊		33%
	伝統芸能		40%
	演芸		30%
	映画・映像作品		35%
所在都道府県	東京都		29%
	大阪府		33%
	その他		26%
全体売上高	1,000万円未満		14%
	1,000万円～1億円未満		18%
	1億円～10億円未満		34%
	10億円～100億円未満		36%
	100億円以上		33%



① 本報告書の構成

② 調査概要

③ 調査結果のサマリー

④ 舞台・ライブエンタメに関する各種統計・調査との比較

⑤ 統括団体別の結果

⑥ その他の属性別の結果

⑦ その他の集計結果（統括団体別）（参考情報）

# 法人化有無・法人形態

## ■ 法人化有無

(単位：社・団体)

	全体	JAME	FMPJ	ACPC	JPASN
n数	226	-	-	60	171
法人化している	92%	-	-	98%	89%
法人化していない（任意団体）	5%	-	-	2%	6%
法人化していない（個人事業）	2%	-	-	0%	2%
法人化していない施設で加盟	2%	-	-	0%	2%

## ■ 法人形態

(単位：社・団体)

	全体	JAME	FMPJ	ACPC	JPASN
n数	254	27	28	61	158
株式会社	76%	96%	100%	97%	63%
有限会社	9%	4%	0%	3%	13%
合同会社・合資会社・合名会社	7%	0%	0%	0%	11%
特定非営利活動法人（NPO）	1%	0%	0%	0%	1%
一般社団法人・一般財団法人	5%	0%	0%	0%	8%
公益社団法人・公益財団法人	2%	0%	0%	0%	4%
その他	0%	0%	0%	0%	1%

【設問文】

- あなたの会社・団体は法人化をしていますか。  
（一般社団法人緊急事態舞台芸術ネットワークのみ表示）  
※緊急事態舞台芸術ネットワークに文化施設単位で加盟しており、文化施設単体では法人化していない場合は「法人化していない施設で加盟」を選択してください  
（例：公益財団法人〇〇が運営する〇〇劇場にて加盟）。
- あなたの会社・団体の法人形態はどのようなものですか。

# 中心となる事業内容

■ 中心となる事業内容

(単位：社・団体)

	全体	JAME	FMPJ	ACPC	JPASN
n数	273	27	28	62	176
公演の主催（興行主）	40%	4%	29%	52%	44%
アーティストマネジメント	15%	78%	50%	3%	6%
公演・作品の制作	13%	0%	11%	13%	16%
舞台技術	8%	0%	0%	0%	12%
公演の運営	7%	4%	11%	23%	2%
公演の運営サポート（票券、整理・警備、広報・広告宣伝等）	4%	0%	0%	8%	3%
劇場・音楽ホールの運営（含む指定管理業務）	5%	0%	0%	0%	7%
著作権管理	1%	7%	0%	0%	0%
ファンクラブ運営	0%	0%	0%	0%	0%
その他の事業	5%	0%	0%	2%	8%
判断できない	2%	7%	0%	0%	2%

【設問文】

- あなたの会社・団体の事業内容としてあてはまるものを全て選択してください。
  - あなたの会社・団体の事業内容として最も中心となるものを選択してください。
- ※判断が難しい場合は、最も売上が大きな事業を選択してください。

# 芸術分野

■ 芸術分野

(単位：社・団体)

	全体	JAME	FMPJ	ACPC	JPASN
n数	273	27	28	62	176
音楽①（ポップス、ロック、ダンスミュージック、演歌・歌謡曲、ジャズ等）	51%	74%	100%	98%	27%
音楽②（クラシック、オペラ等）	22%	7%	18%	39%	22%
演劇・ミュージカル	74%	59%	14%	42%	94%
ダンス・バレエ・舞踊	24%	7%	18%	31%	28%
伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、文楽・浄瑠璃、雅楽等）	18%	11%	7%	21%	20%
演芸（漫才・コント、落語、大道芸等）	28%	37%	7%	39%	26%
映画・映像作品	21%	56%	14%	15%	22%
あてはまるものはない	1%	0%	0%	0%	1%

【設問文】

●あなたの会社・団体が行う事業の芸術分野としてあてはまるものを全て選択してください。

# 所在都道府県

■ 所在都道府県

(単位：社・団体)

	全体	JAME	FMPJ	ACPC	JPASN
n数	273	27	28	62	176
東京都	190	25	23	30	125
大阪府	20	2	0	8	12
その他	63	0	5	24	39

	全体	JAME	FMPJ	ACPC	JPASN
東京都	70%	93%	82%	48%	71%
大阪府	7%	7%	0%	13%	7%
その他	23%	0%	18%	39%	22%

【設問文】

● あなたの会社・団体の本社（あるいは主たる事務所）のある都道府県を選択してください。

# 舞台・ライブエンタメ関連 構成員数

■ 舞台・ライブエンタメ関連 構成員数 (単位：社・団体)

	全体	JAME	FMPJ	ACPC	JPASN
n数	272	27	28	62	175
1～9人	99	5	8	20	71
10～99人	147	19	17	37	85
100～999人	24	3	3	5	17
1,000人以上	2	0	0	0	2

	全体	JAME	FMPJ	ACPC	JPASN
1～9人	36%	<div><div></div></div> 19%	<div><div></div></div> 29%	<div><div></div></div> 32%	<div><div></div></div> 41%
10～99人	54%	<div><div></div></div> 70%	<div><div></div></div> 61%	<div><div></div></div> 60%	<div><div></div></div> 49%
100～999人	9%	<div><div></div></div> 11%	<div><div></div></div> 11%	<div><div></div></div> 8%	<div><div></div></div> 10%
1,000人以上	1%	<div><div></div></div> 0%	<div><div></div></div> 0%	<div><div></div></div> 0%	<div><div></div></div> 1%

【設問文】  
● 現在、あなたの会社・団体の舞台・ライブエンタテイメントに関する事業に従事している構成員の人数の規模を選択してください。  
※公演の警備・サポート等で一時的に関与しているフタッフ（アルバイト等）は含みません。  
（一般社団法人緊急事態舞台芸術ネットワークのみ表示）  
※雇用契約を結んでいない劇団員等の構成員も含めてお答えください。

# 全体売上高

■全体売上高

(単位：社・団体)

	全体	JAME	FMPJ	ACPC	JPASN
n数	272	27	28	62	175
1,000万円未満	29	0	0	1	28
1,000万円～1億円未満	56	7	1	2	46
1億円～10億円未満	81	9	8	16	53
10億円～100億円未満	74	7	13	31	29
100億円～1,000億円未満	27	4	6	11	14
1,000億円以上	5	0	0	1	5

	全体	JAME	FMPJ	ACPC	JPASN
1,000万円未満	11%	0%	0%	2%	16%
1,000万円～1億円未満	21%	26%	4%	3%	26%
1億円～10億円未満	30%	33%	29%	26%	30%
10億円～100億円未満	27%	26%	46%	50%	17%
100億円～1,000億円未満	10%	15%	21%	18%	8%
1,000億円以上	2%	0%	0%	2%	3%

【設問文】

- あなたの会社・団体の直近の会計年度の「売上高」の規模はどのくらいですか。
- ※舞台・ライブエンタテインメント事業以外の収入も含めた会社・団体全体の売上高を選択してください。